

# 浜松学院大学 2016 年度公開講座のご案内

## 講演会「3.11 を学びに変える

### ～あの日を語ろう、未来を語ろう～

あの日、2011年3月11日石巻市の大川小学校では多くの子どもと先生の命が一瞬にして失われました。たしかに悲しいことでした。誰もが目を背けたい、耳をふさぎたい出来事です。しかし、私たちは、その事実に向き合う中で、多くのことに気づかされました。それは未来への学びにすべきことではないでしょうか。何が起きたのか、そして何を伝えていくべきなのか。一緒に考えませんか。

**日時：2017年1月22日(日)午前10時～12時**

**会場：浜松学院大学 4401 教室**

**参加費：無料**（若者の参加をお待ちしています）

（資料「小さな命の意味を考える」へのカンパ受け付けます）

**駐車場：学内に駐車場を完備しております。**

公共機関を利用される方は、遠州鉄道バス館山寺線学院大学前下車（浜松駅より15分）

## 講師：佐藤敏郎さんのプロフィール

1963年生まれ。宮城県石巻市出身。1987年より中学校教諭（国語）として宮城県内の中学校に勤務（平成14年から3年間は女川町生涯学習課勤務）。2015年3月退職。

震災後は宮城県女川中学校、矢本第二中学校で防災を担当。宮城県の防災教育副読本の編集委員も務めた。

震災当時、宮城県女川第一中学校（現在の女川中学校）に勤務。震災後の5月、生徒たちの想いを五七五に込める俳句づくりの授業を行い、テレビ、新聞、書籍等で紹介される。28年度の中学校1年の教科書にも掲載されることになった。2015年から、震災当時小学生だった高校生が若者とディスカッションをする企画「あの日を語ろう、未来を語ろう」を各地で展開。2016年「16歳の語り部」（ポプラ社）を刊行。震災で当時大川小学校6年の次女が犠牲に。遺族らと「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、全国の防災イベントで講演等を行っている。現在はNPO KIDS NOW JAPAN 理事、NPO カタリバ アドバイザーの他、東北放送ラジオ（2016年3月までは女川さいがいFM）のパーソナリティーとしても活動している。文科省委託事業「いのちを語り継ぐ会」講師。

問合せ先：浜松学院大学・大野木まで TEL053-450-7000 メール onogi@hgu.ac.jp